

令和3年度第1回消費生活eモニターアンケート調査

「SDGs・エシカル消費について」

目 次

第1章 調査の概要	… P 2
1 調査目的	
2 調査方法	
3 調査期間	
4 調査対象	
5 回答者の属性	
第2章 調査結果	… P 3

【以下のホームページも是非ご覧下さい。】

◎ つながる・かながわ消費者教育－かながわ消費者教育サポートサイト－

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r7b/edu/index.html>

第1章 調査の概要

1 調査目的

SDGs・エシカル消費の認知度・理解度について調査し、今後の啓発活動など消費生活行政の参考とするため。

【SDGs(エスディーズ)】…2015年国連サミットで採択された、地球上にあるさまざまな社会課題を2030年までに解決するために定められた17の国際目標

【エシカル消費】…人や社会、環境に配慮したものやサービスを選択する消費行動。フェアトレード製品やオーガニック製品など、人や社会、環境への思いやりのある商品を買うこと。

【フェアトレード】…開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみ

2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査（全15問）

3 調査期間

令和3年8月25日（水）から9月3日（金）まで

4 調査対象

消費生活eモニター：311名 回答者：250名（回答率 80.4%）

5 回答者の属性

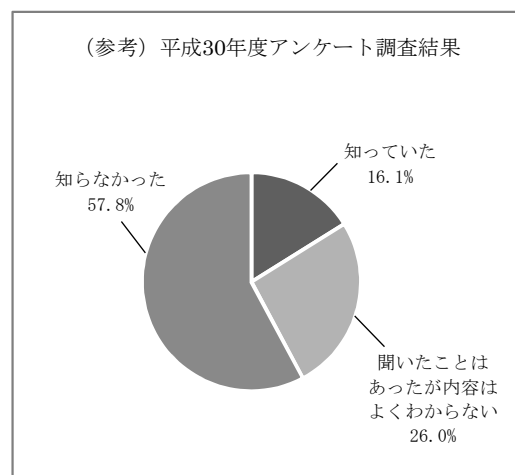
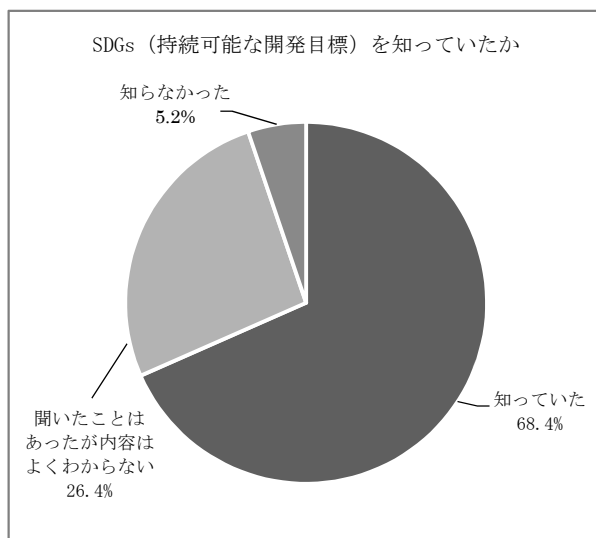
年齢	18～29歳	10名
	30歳代	28名
	40歳代	60名
	50歳代	82名
	60歳代	40名
	70歳以上	30名

第2章 調査結果

- ・複数回答のある設問では、比率の合計が100を超える場合があります。
- ・未回答者がある場合、比率の合計が100に満たない場合があります。

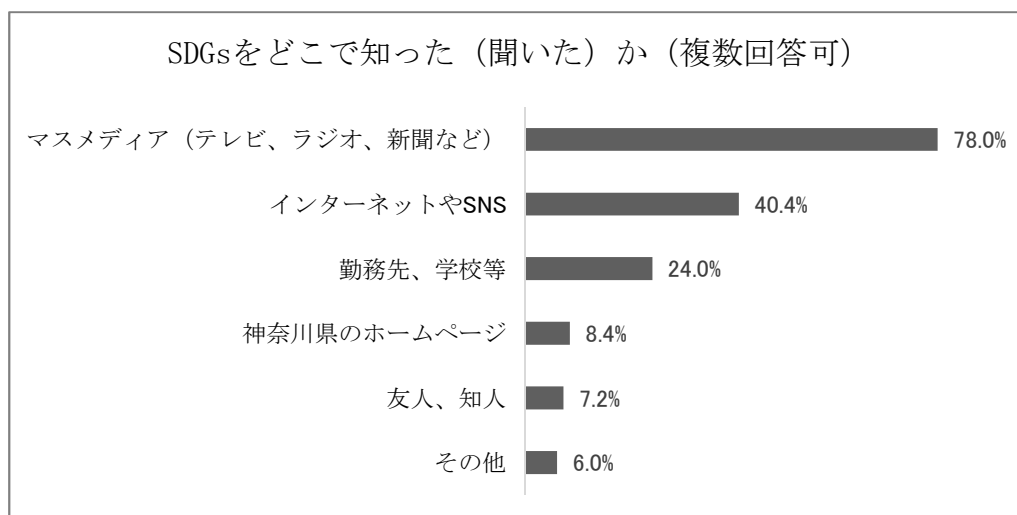
Q 1 SDGs（持続可能な開発目標）を知っていましたか。

- ・「知っていた」と回答した方が約7割



Q 2 【Q1で「知っていた」「聞いたことはあったが内容はよくわからない」と回答した方におたずねします。】
SDGsをどこで知り（聞き）ましたか。（複数回答可）

- ・「マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞など）」が約8割で最多

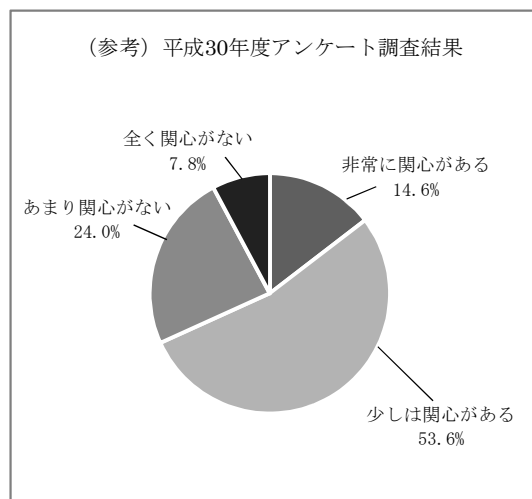
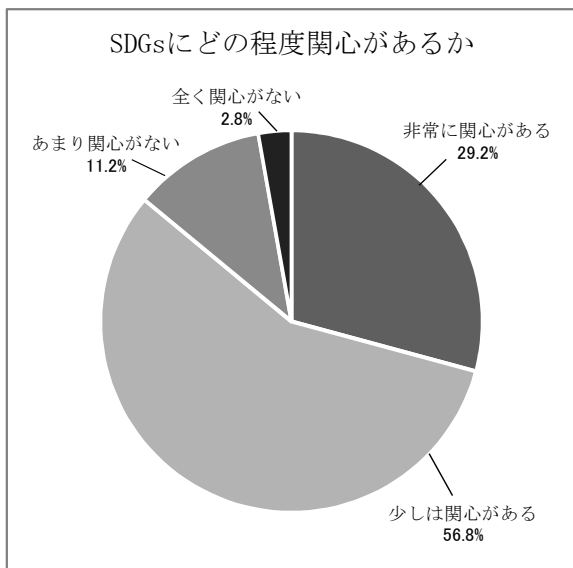


○「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・生活協同組合（コープ）の配布している冊子
- ・横浜市の広報冊子 など

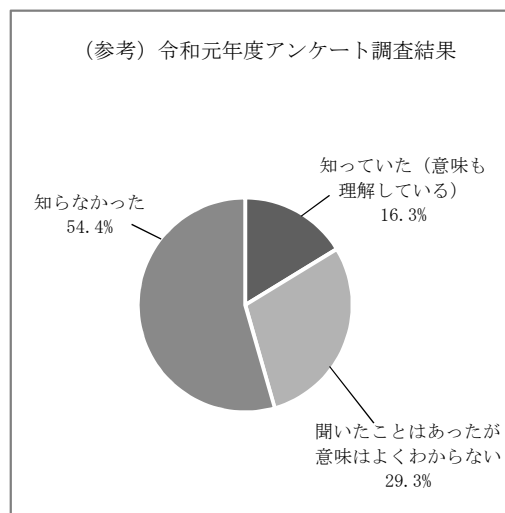
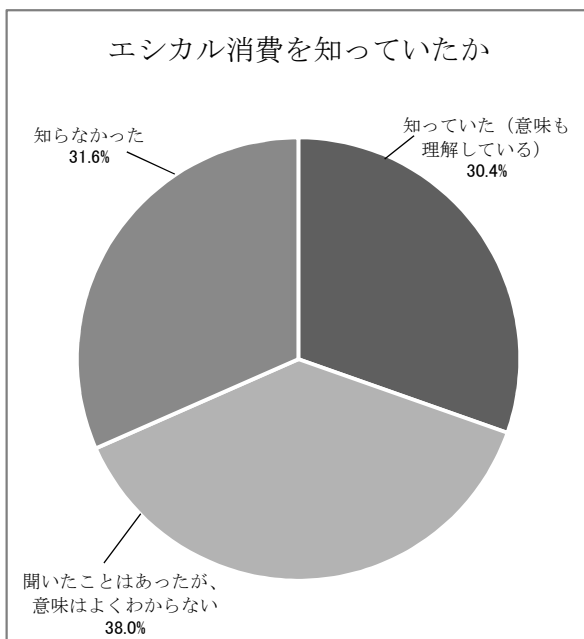
Q 3 SDGs にどの程度関心がありますか。

・「非常に関心がある」「少しは関心がある」と回答した方が8割以上



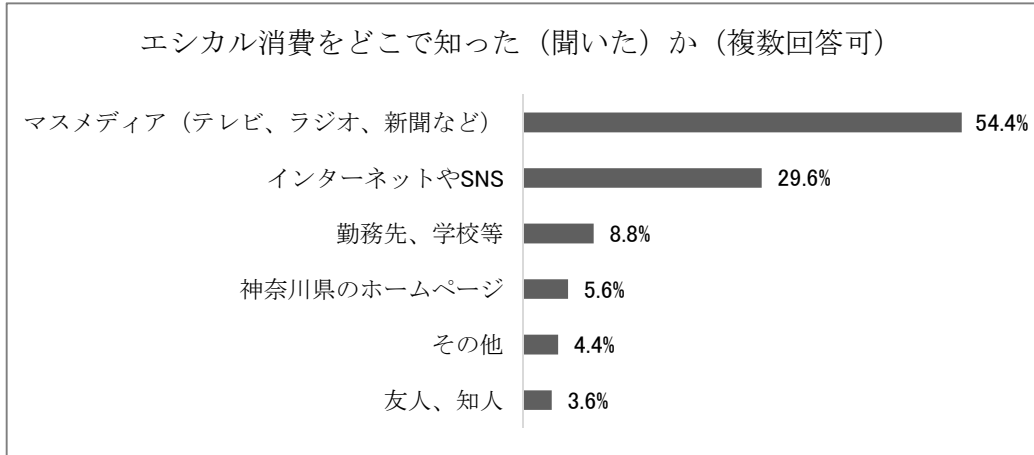
Q 4 「エシカル消費」を知っていましたか。

・「知っていた（意味も理解している）」と回答した方が約3割



Q 5 【Q4で「知っていた」「聞いたことはあったが意味はよくわからない」と回答した方におたずねします。】
「エシカル消費」をどこで知り（聞き）ましたか。（複数回答可）

・「マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞など）」が5割以上で最多

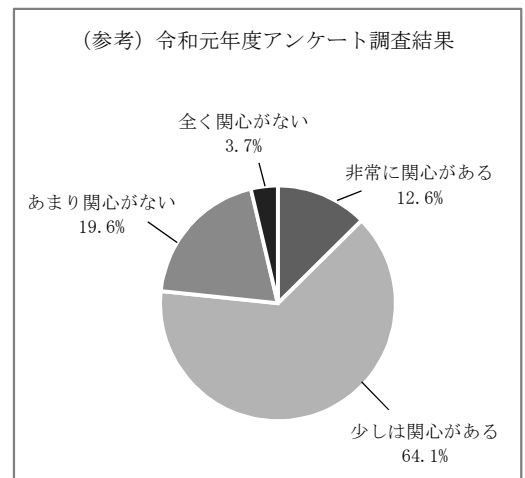
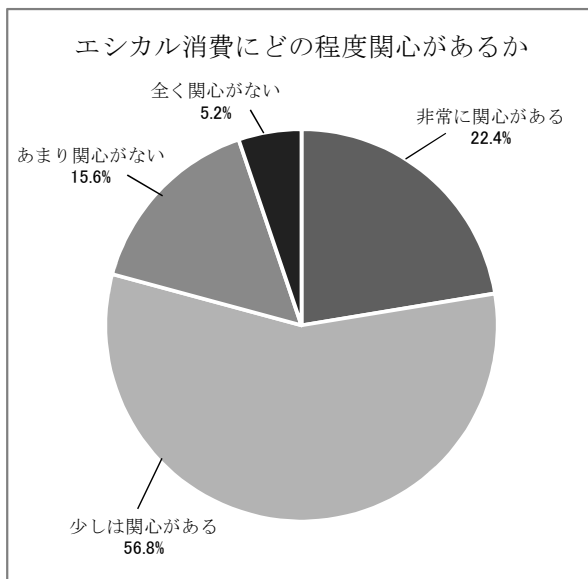


○「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・生活協同組合（コープ）
- ・講習会
- ・コンビニエンスストア など

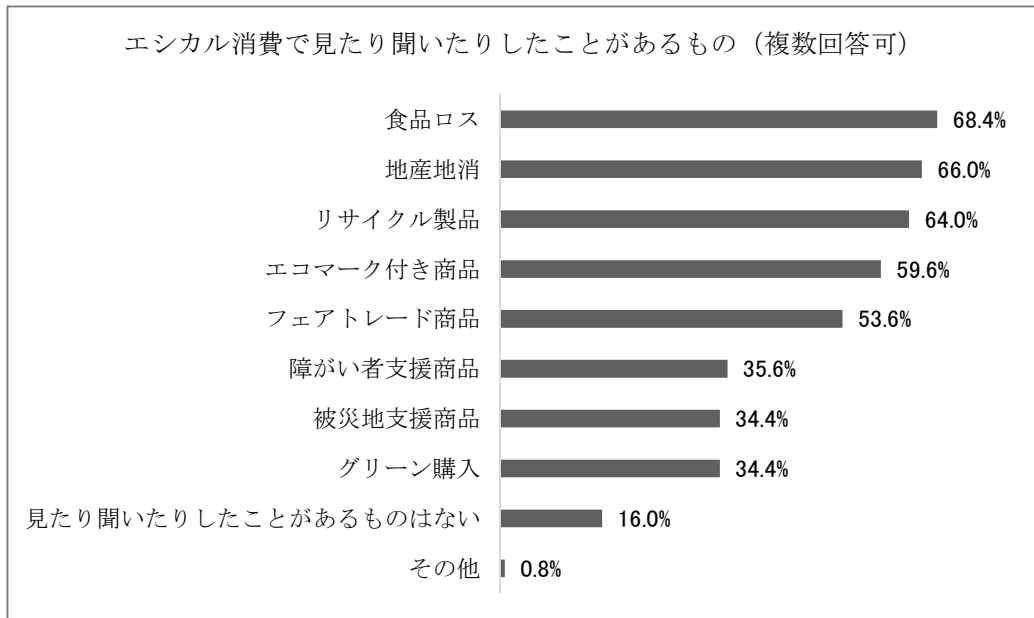
Q 6 エシカル消費にどの程度関心がありますか。

・「非常に関心がある」「少しは関心がある」と回答した方が約8割



Q 7 エシカル消費に関連した言葉や商品で、見たり聞いたりしたことがあるものを選択してください。(複数回答可)

・「食品ロス」「地産地消」「リサイクル製品」が6割以上

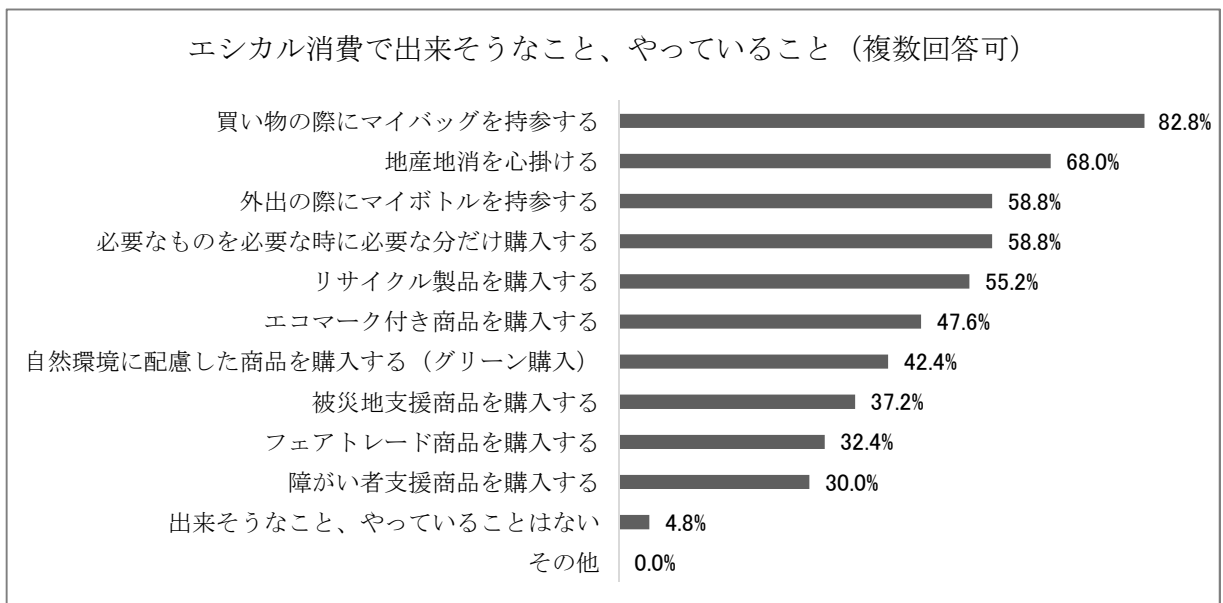


○「その他」の主な回答 (抜粋・要約)

- ・アップサイクル
- ・エコレールマーク

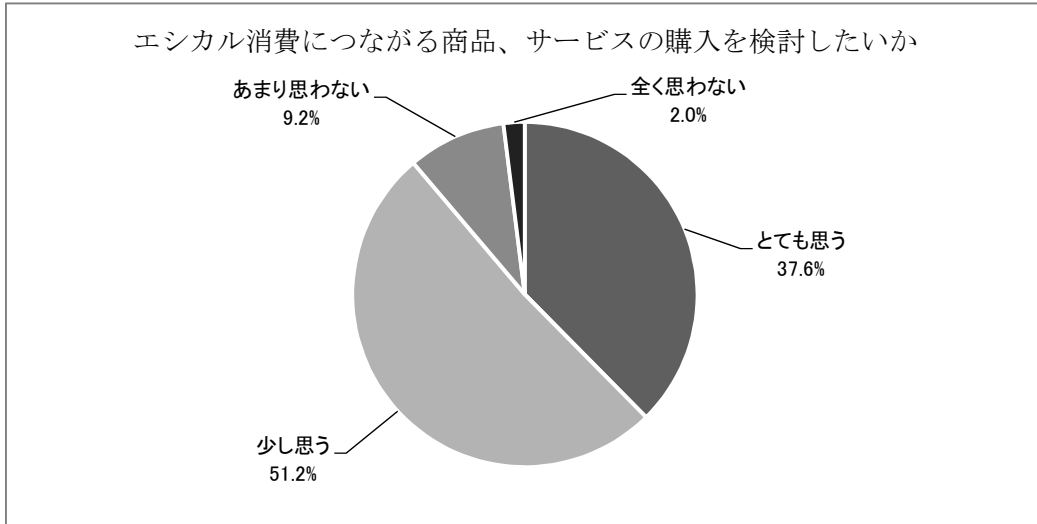
Q 8 エシカル消費で、あなたが出来そうなこと、やっていることがあれば選択してください。(複数回答可)

・「買い物の際にマイバッグを持参する」が8割以上で最多



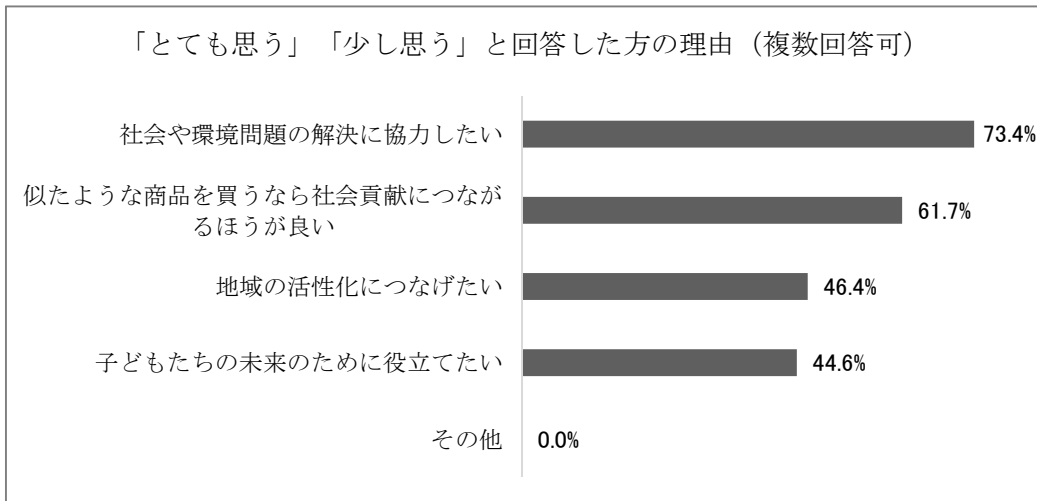
Q 9 エシカル消費につながる商品、サービスの購入を検討したいと思いますか。

・「とても思う」「少し思う」と回答した方が約9割



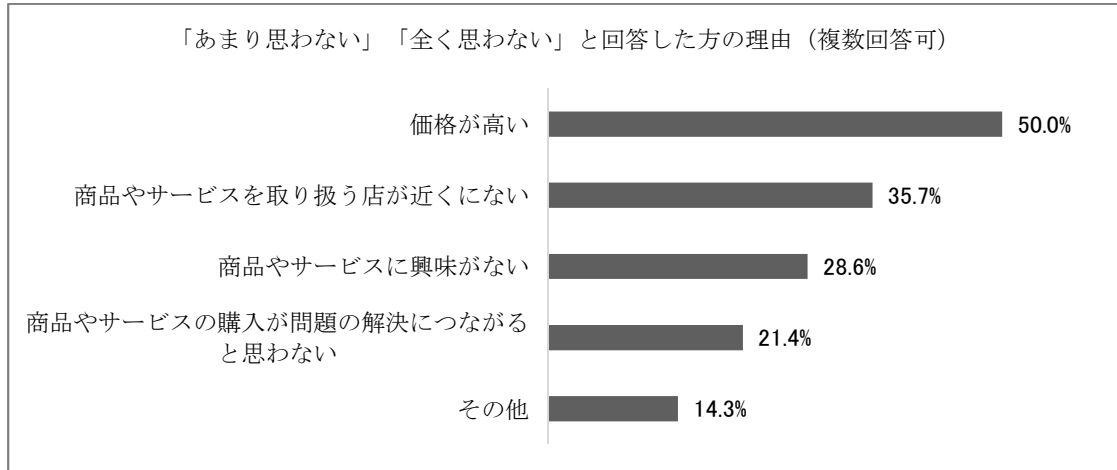
Q10 【Q9で「とても思う」「少し思う」と回答した方におたずねします。】
その理由として当てはまるものはどれですか。（複数回答可）

・「社会や環境問題の解決に協力したい」が約7割で最多



Q11 【Q9で「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方におたずねします。】
その理由として当てはまるものはどれですか。（複数回答可）

・「価格が高い」が5割で最多

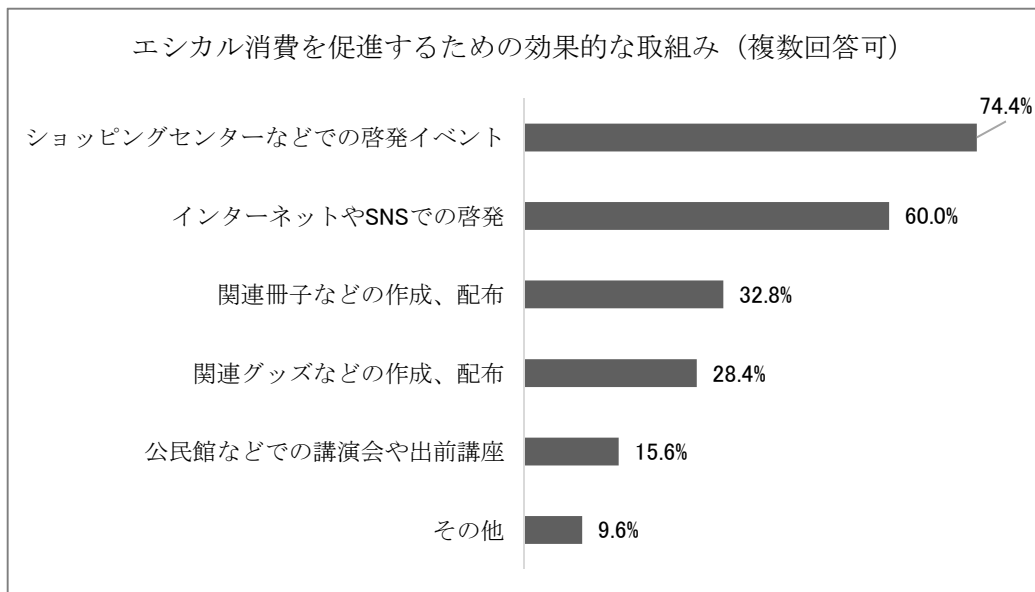


○「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・欲しい商品がエシカル消費に対応していない
- ・（企業目線でみると）コストに見合うだけの需要がない
- ・生活困窮のため、購入が難しい など

Q12 エシカル消費を促進するために、どのような取組みが効果的だと思いますか。（複数回答可）

・「ショッピングセンターなどでの啓発イベント」が7割以上で最多



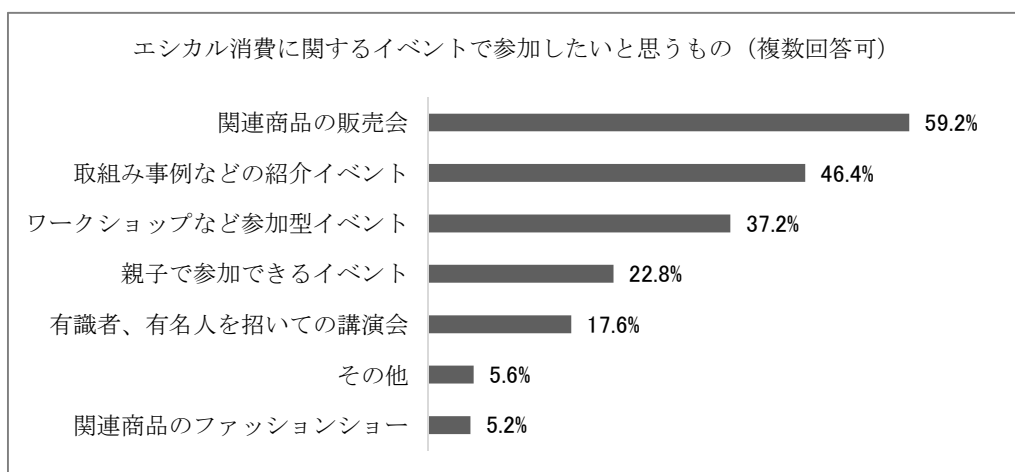
○「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・教育現場での啓発

- ・エシカル消費キャンペーンを実施して、参加ポイントを付与
- ・テレビ CM（回答選択肢のいずれも、関心のある層にしか効果が見込めない）
- ・ラジオ番組での特番 など

Q13 エシカル消費関連のイベントで、今後、機会があれば参加してみたいものはどれですか。（複数回答可）

- ・「関連商品の販売会」が約6割で最多

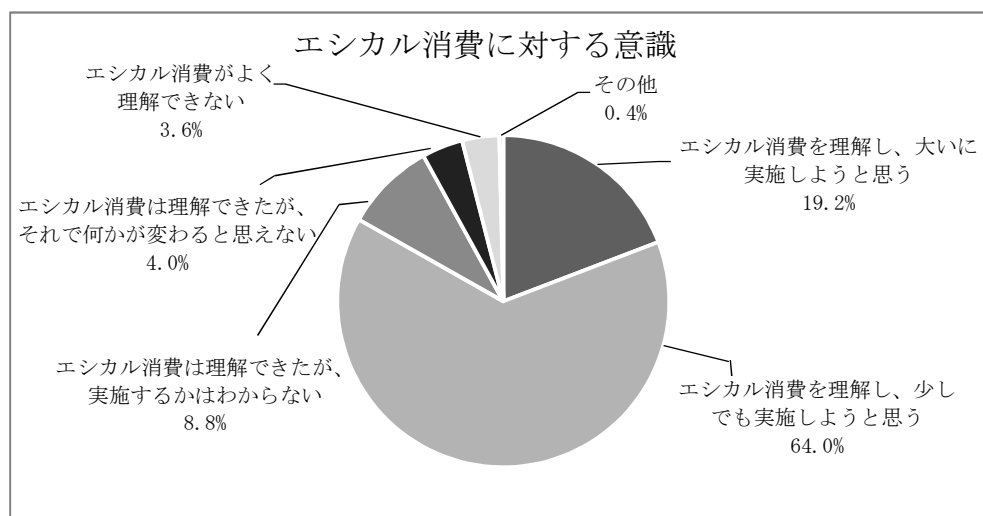


- 「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・イベントは基本的に意識のある人しか参加しないので、大手スーパーなどで買い物ついでに意識付けができる関連商品の販売があると理解が広がると思う。
- ・オンラインのイベント など

Q14 今回のアンケートを通じて感じたエシカル消費に対する意識について、当てはまるものはどれですか。

- ・「大いに実施しようと思う」「少しでも実施しようと思う」が約8割



○「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・コストと利便性が許容や継続出来るならば良い取組みだと思う。

Q15	SDGs・エシカル消費についてご意見がありましたらご自由にお書きください。 (200字以内)
-----	---

【SDGs・エシカル消費全般に関すること】

- ・毎日の暮らしの買い物（消費・商品選択）が地球環境のみならず、世界の経済活動にも影響を与えていることを知って、次の世代にも持続可能な社会を維持することの重要性を意識するようになった。
- ・SDGs はあまりにも理想的過ぎて主体的に取り組む気持ちになれない。エシカル消費も理想な面が強いが、地産地消くらいなら意識しなくても取り組めていたりもするので、それをきっかけに積極的に取り組みたいと思う。「実は知らないうちに協力している」というように気付かせてくれるきっかけを作ってみるのも良いのではと思う。
- ・エシカル消費は大に行いたいと思うが、やはり商品等の価格が高いとどうしても躊躇してしまう。このあたりをうまく解決できればどんどん進むと思う。
- ・エシカル消費という言い方は知らなかったが、エコマーク商品やフェアトレード、地産地消などは知っていたので、これからも自分に出来る範囲で環境に良いことをしていこうと思った。
- ・環境に優しいことを少しずつ積み重ねれば確実に成果は上がると思う。子供にも普段の生活を通してわかりやすく教えていきたいと思った。
- ・エシカル消費は、様々な分野で見聞きするようになり、とても良い傾向だと思う。SDGs のような話は短期で結果が出ないので、少しずつ浸透した方が重く広く長続きすると思う。ネパールや周辺国でボランティアをしていた為、フェアトレードの大切さも痛感している。

【広報、普及、周知活動に関すること】

- ・SDGs、エシカル消費という言葉がわかりにくい。
- ・エシカルの意味は分かるが、こういったことを取り上げる際には日本語の意味もきちんと表記すべきだと思う。
- ・具体例をたくさん示した方がわかりやすい。エシカルやSDGs といった言葉と具体例で動画や写真がついていれば一目瞭然だと思う。
- ・具体的な事例を示しながら説明しないとわかりにくいと思うので、紙ベースの紹介とイベントの組み合わせで紹介できれば、そんなに特別なことではないので理解は得られると思う。
- ・「エコ」や「リサイクル」等の言葉はもうほぼ全国民が知っているように、「エシカル」や「SDGs」も皆が知る言葉になれば良いと思う。

・今後も広く周知する必要があると思う。ただ、周知や告知方法の検討は今後も課題になる。インターネットやSNSだけではなく、紙媒体（県のたよりなど含む）の利用も必要だと考える。

・知らない人に対していかに働きかけられるかだと思うので、閉じられた空間（公民館など）に一部の興味がある人だけを集めて行われるイベントは、啓蒙活動としてあまり有意義とは言い難いように感じる。広い世代が訪れるショッピングセンターのような場所での販売会（きちんとエシカル消費およびSDGsの実利に繋がるもの）が良いと思う。

【教育に関すること】

- ・学校教育でも積極的に取り入れるべきだと思う。
- ・SDGs は子どもが学校で習ってきて詳細を知った。学校教育で取り組むとその親にも理解が深まると思う。

[まとめ]

今回のアンケートを通じ、次のような点が明らかになりました。

○SDGsについて「知っていた」「聞いたことはあったが内容はよくわからない」と回答した方は合わせて9割以上であった。

また、エシカル消費について「知っていた（意味も理解している）」「聞いたことはあったが意味はよくわからない」と回答した方は合わせて約7割であった。

○エシカル消費に関して見たり聞いたりしたことがあるものに関しては、「食品ロス」「地産地消」「リサイクル製品」がそれぞれ6割以上であった。

○エシカル消費に関して出来そうなこと・やっていることに関しては、「買い物の際にマイバッグを持参する」と回答した方が8割以上であった。次いで6割以上の方が「地産地消を心掛ける」、5割以上の方が「外出の際にマイボトルを持参する」「必要なものを必要な時に必要な分だけ購入する」「リサイクル製品を購入する」と回答した。

○エシカル消費につながる商品・サービスの購入の検討に関しては、「とても思う」「少し思う」が合わせて約9割で、その理由については、「社会や環境問題の解決に協力したい」が最も多く7割以上であった。

また、「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方の理由では「価格が高い」が最も多く5割であった。

○エシカル消費を促進するために効果的だと思うことは、「ショッピングセンターなどでの啓発イベント」と回答した方が7割以上で最も多く、次いで6割の方が「インターネットやSNSでの啓発」と回答した。

○エシカル消費に関連するイベントで参加したいと思うものについては、「関連商品の販売会」と回答した方が約6割で最も多く、次いで4割以上の方が「取組み事例などの紹介イベント」と回答した。

○今回のアンケートを通じて感じたエシカル消費に対する意識については、「エシカル消費を理解し、大いに実施しようと思う」、「エシカル消費を理解し、少しでも実施しようと思う」と回答した方が合わせて8割以上であった。

今後、アンケート結果を踏まえ、消費者教育の推進や県民への的確な情報提供などに取り組んでまいります。